Course number	U-LAS05 20004 LJ40		
Course title (and course title in English)	民俗学Ⅰ Folklore Studies I	Instructor's name, job title, and department of affiliation	Institute for Research in Humanities Assistant Professor,KIKUCHI AKIRA

Group	Humanities and Social Sciences	Field(Classification)	Regions and Cultures(Issues)

Language of instruction	Japanese	Old group	Group A	Number of credits	2

Number of weekly time blocks	1	Class style	Lecture (Face-to-face course)	Year/semesters	2026・First semester

Days and periods	Wed.4	Target year	All students	Eligible students	For all majors

[Overview and purpose of the course]

民俗学とは、人間の「せつなさ」と「しょうもなさ」に寄り添う学問ではないかと思う。普通の人々が日々の暮らしのなかから創り上げ、承け伝えてきたコトバ、モノ、ワザといった営みの総体、そしてその結果として存在する「私たち自身」を「民俗資料」と名付け、そこから、文字資料には決して書き残されることのなかった普通の人々の歴史を探ることを試みる学問である。本講義は、民俗学の目的と方法を、その創始者・柳田国男（1875－1962）の学問的生涯に即して概略した上で、衣食住、経済生活、社会集団、等々の個別分野を論じる予定である。

[Course objectives]

民俗学の基本的な考え方と初歩的な実践方法を理解する。

[Course schedule and contents)]

１．使用上の注意
２．柳田国男の生涯
３．民俗学の方法
４．たべる－食－
５．すむ－住－
６．きる－衣－
７．生活史作成の注意１
８．はたらく－生産・生業－
９．はこぶ－交通・運輸－
１０．とりかえる－交換・交易－
１１．生活史作成の注意２
１２．つどう１－血縁－
１３．つどう２－地縁－
１４．つどう３－社縁－
１５．まとめ（フィードバック）

[Course requirements]

人生儀礼、信仰行事、口頭伝承を扱う「民俗学Ⅱ」は後期に開講する。

Continue to 民俗学Ⅰ(2)↓↓↓

民俗学Ⅰ(2)

[Evaluation methods and policy]

授業中に課すミニ・レポート（40点配点）および「聞き書き」を課題とする期末レポート（60点配点）によって評価する。詳細は講義中に指示する。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

（References, etc.）
菊地暁『民俗学入門』（岩波書店）ISBN:978-4-00-431910-8
菊地暁［編］『書いてみた生活史：学生とつくる民俗学』（実生社）ISBN:978-4-910686-13-4
菊地暁・佐藤守弘［編］『学校で地域を紡ぐ―『北白川こども風土記』から―』（小さ子社）ISBN:9784909782052
菊地暁『柳田国男と民俗学の近代―奥能登のアエノコトの二十世紀―』（岩波書店）ISBN:9784006004859
授業中に随時紹介する。

[Study outside of class (preparation and review)]

・履修前には、十数年分の「人生経験」があればよい。
・授業後に、講義内容に関連して各自の生活体験を報告する「ミニ・レポート」が課される。「簡単に済ませようと思う」なら10分とかからず作成可能である。
・期末レポートでは初歩的な「聞き書き」が課される。これも「簡単に済ませようと思う」なら1時間程度の調査と半日程度の文章作成で可能である。
・もちろん、「簡単に済ませようと思わない」ならこの限りではない。そして学問とは、むしろそのような営みであるはずだ。

[Other information (office hours, etc.)]

知的好奇心の旺盛な受講生を歓迎する。また、民俗学に限ったことではないが、学問を学ぶ以上、「事実と論理」の前にひざまづく覚悟が肝要である。

[Essential courses]